

公益財団法人 JFE21 世紀財団 2026 年度 アジア歴史研究助成 募集要項

1. 助成対象となる研究

「21 世紀アジアと共存共栄するための、日本の産業と文化の Vision 構築に資するアジア歴史研究」

アジアの各地域はいずれもきわめて複雑な歴史をたどってきた。その結果として今日の政治、経済、社会、文化状況がある。本研究助成は、歴史的経緯を踏まえながら現況を直視し、未来を考える研究を対象とする。また、アジア各地域と日本の関係についての歴史と記憶の研究も含む。なお、研究対象地域は下記の範囲とする。

北・東アジア(日本、朝鮮半島、中国、モンゴル、ロシアの一部)、東南アジア、南アジア～西アジア(中東)、中央アジア～カフカス地域

- * 実質的に既に完了している研究や、特定機関からの委託研究は対象外とする。
- * 上記条件に該当しない応募は、事務局判断で審査委員会に上申しない場合もある。
- * 助成研究は公開を前提とする。本財団にて助成研究報告書を発行し、本財団ホームページ(HP)で公開する。

2. 助成件数と助成金額

10 件 (原則)、1 件あたり 150 万円

- * 助成金は代表研究者の所属する大学・研究機関に交付(指定銀行口座に 2026 年 12 月に振込)
- * 助成金の使途は、参考書籍・文書購入費、設備・備品費、学会・調査旅費、研究補助者謝金等で、研究室運営費、学会等開催費、論文印刷・書籍刊行費などは不可とする。

3. 研究期間 原則 1 年間 (2027 年 1 月研究開始、同年 12 月終了、2028 年 1 月報告書提出)

但し、1 年間で上限として延長を可とする。(その場合 2029 年 1 月報告書提出)

4. 応募資格

日本の国公立大学・短期大学・高等専門学校または公的研究機関に在籍(常勤)する研究者であって国籍は問わない。なおグループでの研究の場合、代表研究者以外の共同研究者は 3 名以内で、大学院生および外国の大学、日本の他の大学や公的研究機関に在籍する研究者も可とする。2023～2025 年度の本研究助成を代表研究者として受領した者は、今回は代表研究者としての応募はできない。

5. 申請の手続き

本財団 HP の申請様式に(原則として日本語で)記入し、HP の申請画面から財団に送信する。

財団 HP <https://www.jfe-21st-cf.or.jp/> 受付開始 4 月 13 日(月) : 締切 6 月 22 日(月)

- * 記入と送信の要領は申請画面に掲載、電子申請につき郵送は不可とする。

6. 審査・選考と助成研究(者)の公表

本財団委嘱の審査委員会による審査・選考を経て本財団理事長が決定し、9 月末に応募者に結果を通知の後、本財団 HP 等で公表する。

審査委員長 菊池 秀明 (国際基督教大学教養学部 教授)
審査委員 小松 久男 (東京大学 名誉教授)
保坂 俊司 (中央大学国際情報学部 教授)
三尾 裕子 (慶応義塾大学 名誉教授)

7. 助成受領研究者の義務と条件等

- (1) 助成受領者は、本財団と「アジア歴史研究助成覚書」を締結
- (2) 助成金の受領手続き(本財団所定の寄付申請書により大学・研究機関事務部に手続きを依頼)
- (3) 研究終了後、研究成果報告書(公開前提)と会計報告書を提出
- (4) 研究論文等において本財団から助成があった旨を記載すること
- (5) 贈呈式への任意出席(代表研究者のみ)〈東京で 12 月 3 日(木)開催予定、出席費用は財団負担

以上